

前期リーグハイライト



JR東日本カップ 2003
第77回関東大学サッカーリーグ戦(前期) 1部リーグ

Komazawa Univ.
駒澤大学

負けなし首位ターン

新戦力の融合で駒大が破竹の6連勝！
2連覇・黄金時代の到来を予感

前期、大活躍の1年生2トップ。原(左)と巻は驚異的な得点能力で駒大の首位ターンに貢献した

前期リーグはコッソツと粘り強く！

前期は辛勝するゲームも引き分けもあっていい。いかに負けない試合が出来るかがポイント。みんなでコッソツ粘り強く戦っていききたい。これはリーグ開幕前の秋田監督の言葉である。前期7試合を終えた駒大。その戦いぶりはまさにこの言葉の通りだった。

開幕戦の相手は今年2部から昇格してきた日大。良い形でリーグ戦のスタートをせりたい駒大は後半、赤嶺のゴールで先制するものの、CKから日大に得点を奪われ手痛いドロー。試合後のコメントでは、多くの選手がメンタル面での課題を口にした。

第2節の中大戦。イエローカード9枚が飛び交う激しい試合を勝利に導いたのは主将・中田のゴールだった。この日絶好調だった永井からのクロスを中田が決め1・0。その後は鈴木、牧野を中心とした守備陣が踏ん張り、1点を守り抜いた駒大が今季初勝利を飾った。この試合は駒大らしいひたむきさが随所にみられた試合だった。

第3節は順大の鋭いカウンターを中心とした攻撃に試合の主導権を握られる苦しい展開となった。それでも前半、小林亮のオーバーラップから最後は赤嶺が押し込み先制。しかし、順大の勢いは衰えず逆に、65分、86分と得点を許し逆転されてしまう。この敗戦の危機からチームを救ったのは、後半から投入された1年生2トップだった。まずは87分に巻がヘディングで自身初ゴールとなる得点で同点にする。そして、後半ラストタイムには原がこちらも自身初ゴールとなる得点で逆転。駒大はこの劇的勝利で2連勝。しかし永井がこの試合で左足を負傷し、前期リーグ戦の出場が絶望的となる大ケガをしてしまった。

第4節の相手は駒大が昨年の後期リーグで、まさかの敗戦を喫してしまつた亜大。前半、亜大に先制ゴールを許し0・1で折り返す。昨年の悪夢がよぎり始めた60分。赤嶺の通算3ゴール目となるゴールで同点に追いつく。直後に、ベンチはこの日ケガで先発を外れていた中後を投入。「ケガをしていただけにあまり使いたくなく